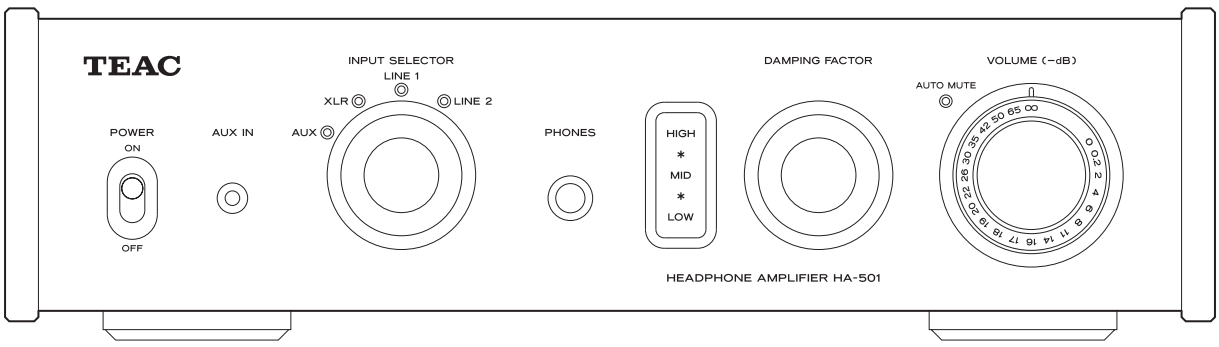
TEAC

HA-501

ヘッドホンアンプ

取扱説明書

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



D01173601A

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

⚠ **警告**	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
 電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。
 禁止	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)に交換をご依頼ください。
	付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(3cm以上)離して置く **ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
 指示	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的(年１回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

 電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す** コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く **通電状態の放置やお手入は、漏電や感電の原因となることがあります。**
 指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のコードを使用する**
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
	この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
 禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
 禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。

目次

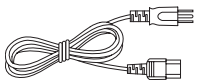
安全にお使いいただくために. 2
付属品 4
お使いになる前に 5
お手入れ 5
接続 6
各部の名前とはたらき. 8
ヘッドホンの接続 9
基本操作. 10
AUTO MUTE 機能について 11
困ったときは. 11
仕 様. 12

記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

付属品

万一付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店、または弊社 AV お客様相談室 (裏表紙に記載) にご連絡ください。

電源コード × 1



電源コード変換コネクタ (3P-2P)



取扱説明書 (本書) × 1

保証書 × 1

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。



適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

お使いになる前に

⚠ 設置の注意

直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

⚠ 使用上の注意

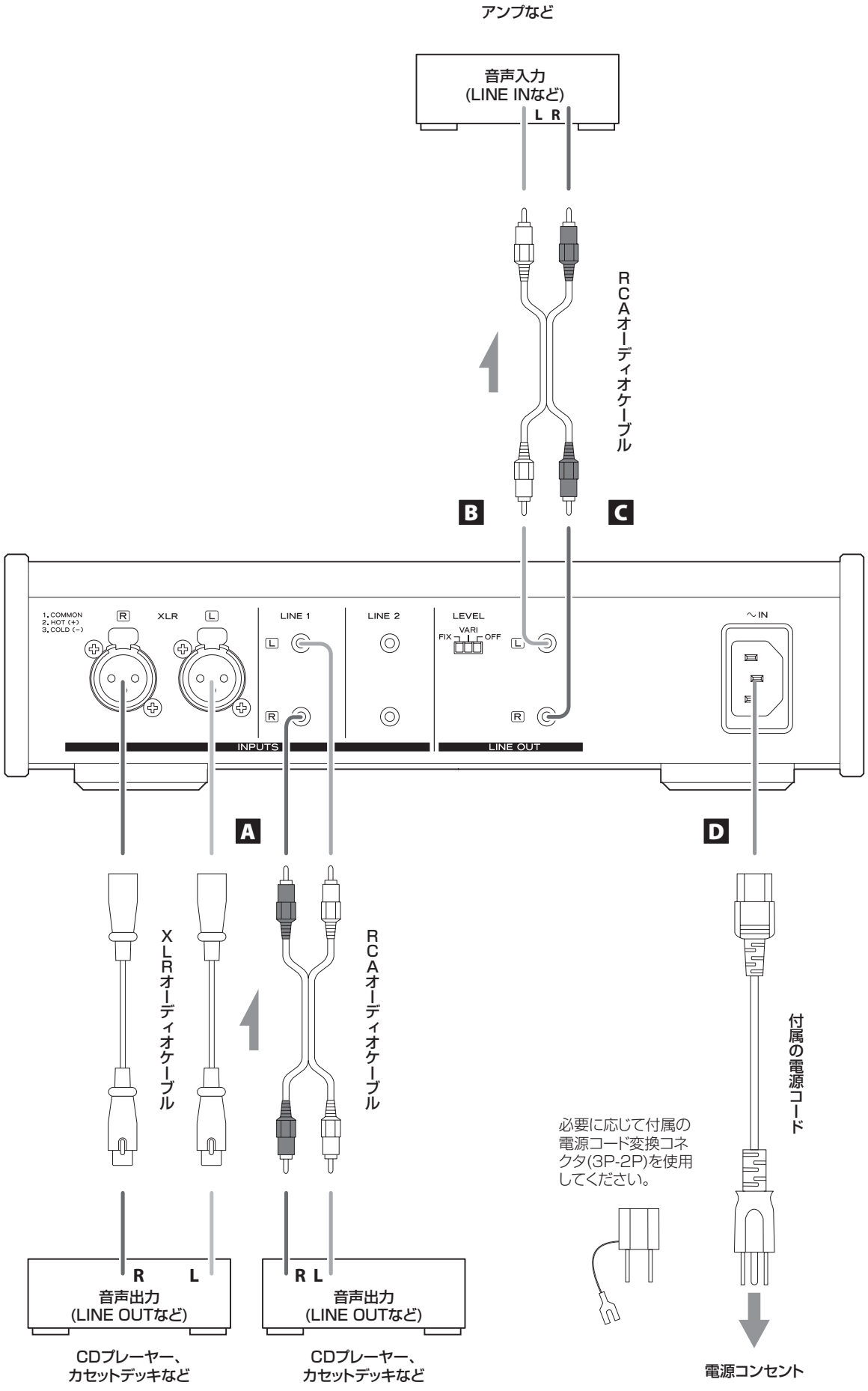
大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を及ぼすことがあります。耳を守るため、ヘッドホンを長時間使用する場合は、音量を上げすぎないようにご注意ください。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

接続


アンプなど
音声入力
(LINE INなど)
L R
RCAオーディオケーブル
B
C
1. COMMON
2. HOT (+)
3. COLD (−)
R
XLR
L
LINE 1
LINE 2
LEVEL
FIX
VARI
OFF
IN
INPUTS
LINE OUT
A
D
XLRオーディオケーブル
RCAオーディオケーブル
付属の電源コード
必要に応じて付属の
電源コード変換コネ
クタ(3P-2P)を使用
してください。
R L
音声出力
(LINE OUTなど)
CDプレーヤー、
カセットデッキなど
R L
音声出力
(LINE OUTなど)
CDプレーヤー、
カセットデッキなど
電源コンセント

A アナログ音声入力端子 (INPUTS)

2 チャンネルのアナログ音声を入力します。カセットデッキ、CD プレーヤーなど音声出力機器と接続してください。
本機の L 端子と音声出力機器の L 端子、本機の R 端子と音声出力機器の R 端子をそれぞれ接続してください。

- 本機の XLR 端子は「2番 HOT」です。

接続には市販のケーブルをお使いください。
XLR　: バランス型 XLR ケーブル
LINE1 : RCA オーディオケーブル
LINE2 : RCA オーディオケーブル

B LEVEL

アナログ音声出力端子 (LINE OUT) から出力する音声のレベルを選択します。
FIX　: 入力と同じレベルを出力します。
VARI : 音量つまみ (VOLUME) に連動して出力します。
OFF　: 出力しません。

C アナログ音声出力端子 (LINE OUT)

2 チャンネルのアナログ音声を出力します。アンプなど音声入力機器と接続してください。
接続には市販のケーブルをお使いください。



C 電源インレット (～ IN)

付属の電源コードを差し込んでください。
全ての接続が終わったら、電源プラグを AC100V の電源コンセントに差し込んでください。

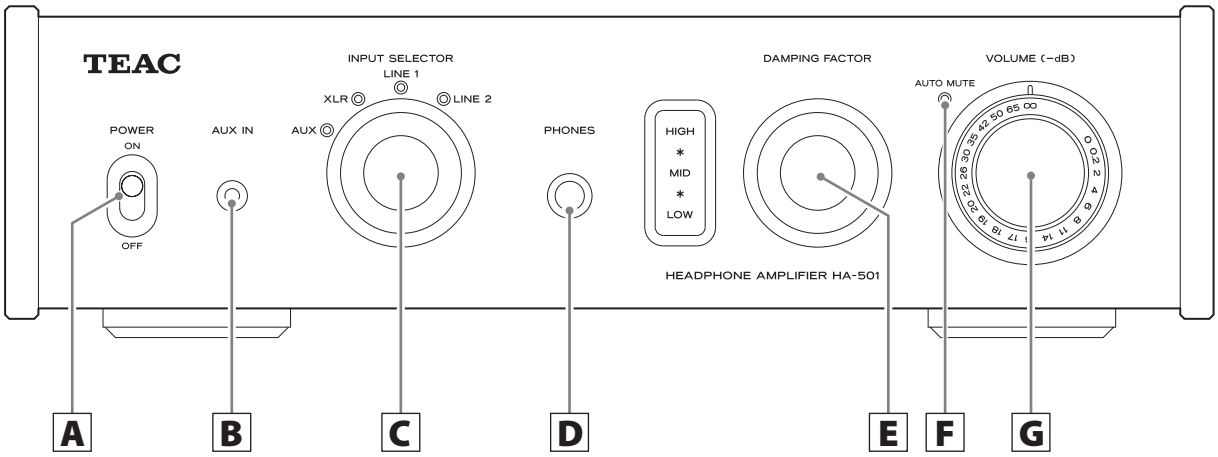
長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

⚠ 付属の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

⚠ 全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。
- 各プラグはしっかりと差し込んでください。

各部の名前とはたらき



A 電源スイッチ (POWER)

電源をオン / オフします。

B アナログ音声入力端子 (AUX IN)

2 チャンネルのアナログ音声を入力します。
Φ 3.5mm ステレオミニプラグを使って、音楽プレーヤーなど音声出力機器と接続してください。
接続には市販のケーブルをお使いください。

C 入力切換つまみ (INPUT SELECTOR)

入力ソースを切り換えます。選択されているソースのインジケーターが点灯します。

D ヘッドホン端子 (PHONES)

ヘッドホンプラグ (Φ6.3mm ステレオ標準プラグ) を接続します。(9 ページ)

E ダンピングファクター切換つまみ (DAMPING FACTOR)

ご使用になるヘッドホン、音楽等により音質が変化しますので、お好みにより、設定してください。(9 ページ)

- ダンピングファクター切換えの際は音量が大きくなることがありますのでご注意ください。

F ミュートインジケーター (AUTO MUTE)

AUTO MUTE が動作中 (消音) のとき点灯します。(11 ページ)

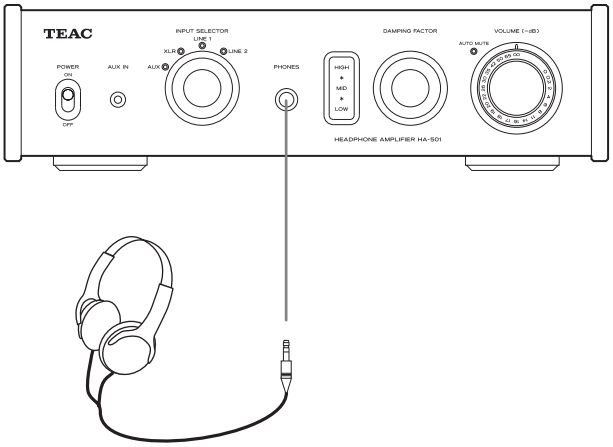
- AUTO MUTE が動作中のときも LINE OUT には音声が出力されます。

G 音量つまみ (VOLUME)

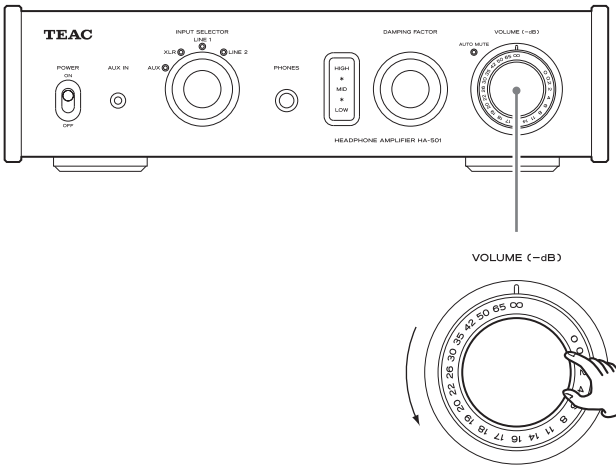
音量を調節します。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

- 音量を最小 (ー∞ dB) の位置まで下げると AUTO MUTE が解除されます。(11 ページ)

ヘッドホンの接続



1 音量つまみ (VOLUME) を最小 (ー∞ dB) の位置にする。



ー∞dB: 最小音量
0dB: 最大音量

2 電源をオンにする。

3 ヘッドホンプラグ (ステレオ標準プラグ) をヘッドホン端子 (PHONES) に差し込む。

4 音量つまみ (VOLUME) で徐々に音量を調節する。

⚠ **ヘッドホンを耳に着けたまま、電源のオン / オフや、ヘッドホンプラグの抜き差しを行わないでください。**
突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。

必ず音量を最小 (ー∞ dB) の位置まで下げてからヘッドホンを着けるようにしてください。

ダンピングファクター切換つまみ (DAMPING FACTOR) について

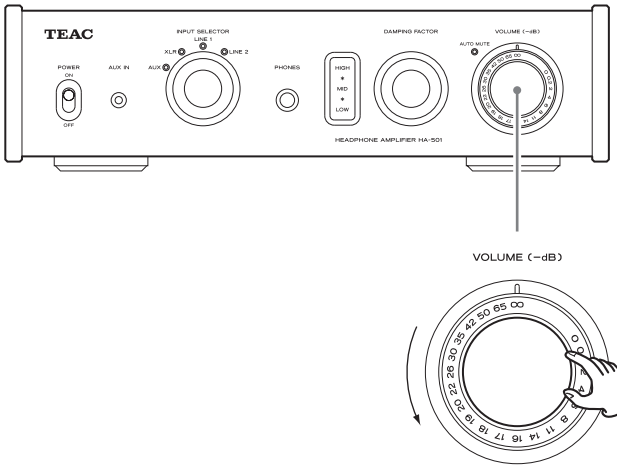
ヘッドホンは機種により、インピーダンスが異なります。より多くのヘッドホンを最適な音質でお楽しみいただくために、ダンピングファクター切替を用意しました。ヘッドホンや音楽によりお好みの位置に合わせてください。

- HIGH 側にすると躍動感のある歯切れの良い音になり、LOW 側にすると、落ち着きのある柔らかい音になります。

- ヘッドホンのインピーダンスは 16Ω から 600Ω のものをご使用ください。

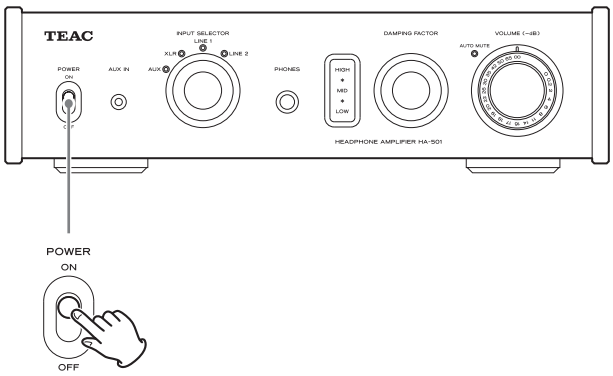
基本操作

1 音量つまみ (VOLUME) を最小 (−∞ dB) の位置にする。



−∞dB: 最小音量
0dB: 最大音量

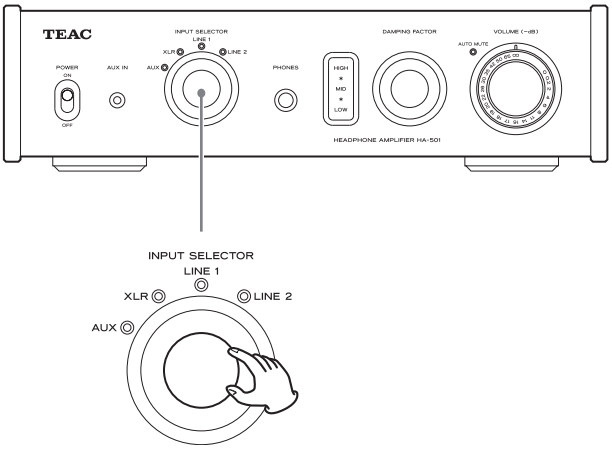
2 電源スイッチ (POWER) を ON 側に倒して電源をオンにする。



- 電源スイッチをオンにしてから、回路が安定するまでの約 10 秒は、MUTE を保持します。
  約 10 秒経過してから、AUTO MUTE を解除してください。

- 音量つまみ (VOLUME) を最小 (−∞ dB) の位置にしておくと、電源スイッチをオンにしてから約 10 秒経過すると、AUTO MUTE が解除され、AUTO MUTE インジケーターが消灯します。

3 入力切換つまみ (INPUT SELECTOR) で入力ソースを選ぶ。

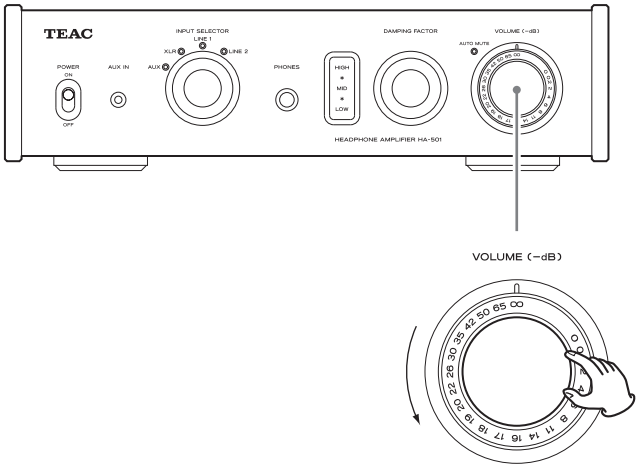


選択したソースの入力インジケーターが点灯します。

4 再生する機器を操作する。

各機器の取扱説明書を参照してください。

5 音量を調節する。



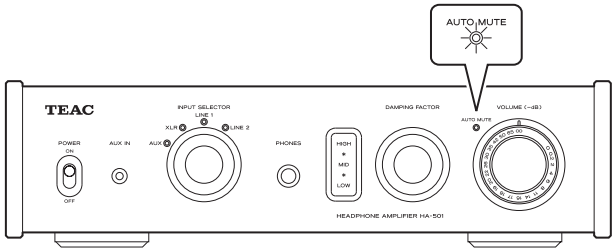
−∞dB: 最小音量
0dB: 最大音量

音量つまみ (VOLUME) を操作して、適切な音量に調節してください。

AUTO MUTE 機能について

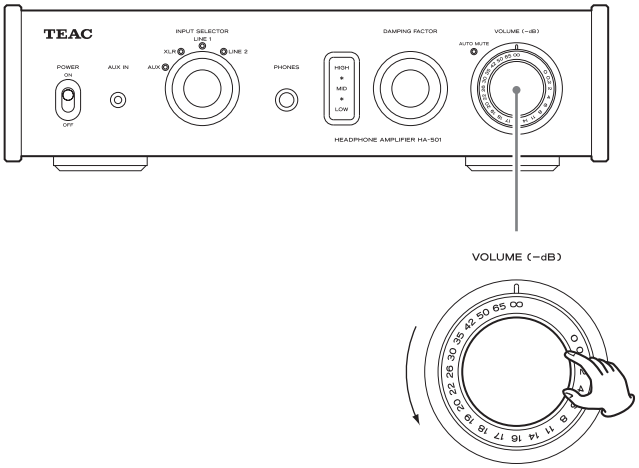
本機はお客様の聴力の保護や過大入力によるヘッドホンの破損を防ぐため、オートミュート機能が装備されています。以下の操作を行ったときに音量つまみ (VOLUME) の位置に関係なく自動でミュート（消音）になり、AUTO MUTE インジケーターが点灯します。

- 電源を ON にしたとき
- ヘッドホンプラグを抜き差ししたとき



AUTO MUTE を解除するには

音量つまみ (VOLUME) で音量を最小 (−∞ dB) の位置まで下げると AUTO MUTE が解除され、AUTO MUTE インジケーターが消灯します。



−∞dB: 最小音量
0dB: 最大音量

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) にご連絡ください。

電源が入らない

➡電源コードがきちんと電源に接続されているか、差し込みが不完全ではないかを確認してください。コンセントがスイッチ式の場合、オンになっているか確認してください。

➡コンセントに他の電気機器を接続して、電気が供給されているかを確かめてください。

音が出ない

➡ミュートインジケーター (AUTO MUTE) が点灯しているときは、音量つまみ (VOLUME) で音量を最小 (−∞ dB) の位置まで下げてから、徐々に上げて音量を調節してください。

➡音量つまみ (VOLUME) で音量を調節してください。

➡ 入力切換つまみ (INPUT SELECTOR) で聴きたいソースを選んでください。

➡外部機器の接続をもう一度確認してください。

ブーンというノイズが聞こえる

➡接続ケーブルの近くに電源コードや蛍光灯等がある場合は、本機からできるだけ遠ざけてください。

ヘッドホンの片側からしか音がでない

➡ヘッドホンプラグが外れていないかチェックしてください。

仕 様

アンプ部

入力

XLR 端子　1 系統 (2 番 HOT)
- 入力インピーダンス····· 20kΩ
- 入力感度····· 2Vrms

RCA 端子　2 系統 (LINE1、LINE2)
- 入力インピーダンス····· 10kΩ
- 入力感度····· 1Vrms

φ3.5 STEREO MINI JACK　1 系統
- 入力インピーダンス····· 13kΩ
- 入力感度····· 0.5Vrms

出力

ヘッドホン端子 (6.3mm ステレオ標準ジャック)
- 適合負荷インピーダンス ····· 16Ω～600Ω
- 実用最大出力 ····· 1400mW+1400mW (負荷32Ω)
  135mW+135mW (負荷600Ω)
- 定格出力····· 600mW+600mW (負荷32Ω)
  34mW+34mW (負荷600Ω)
- 全高調波歪率 ····· 0 .01%以下 (20-20kHz、負荷 32Ω)
- S/N比 ····· 110dB (A-Weight、RCA入力 2Vrms、1kHz)
- 周波数特性····· 10Hz～100kHz±3dB

ライン出力端子 (RCA)
- 出力インピーダンス····· 100Ω
- 基準出力電圧レベル ····· 316mV

一 般

電源電圧····· AC 100V (50/60Hz)

消費電力····· 22W (100V 50Hz/60Hz)

外形寸法····· 290mm x 81.2mm x 244mm (WxHxD、突起部を含む)

質量 ····· 4.1kg

許容動作温度 ····· +5℃～+35℃

許容動作湿度 ····· 5%～85% (結露のないこと)

許容保管温度 ····· -20℃～+55℃

付属品

電源コード x 1

電源コード変換コネクタ (3P-2P)

取扱説明書 (本書) × 1

保証書 × 1

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

■保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

11 ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代： 修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
その他： 製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：ヘッドホンアンプ
HA-501
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5 年に 1 度は、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) に内部の点検をご依頼ください。費用についてはお問い合わせください。



ティアック株式会社
〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　　http://www.teac.co.jp

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858
電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

0712.MA-1828A